

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	吉川市子ども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が長年療育事業に携わってきた保育士であるため、訪問先の職員の立場や状況を理解した上で支援を行っている。	訪問先職員と課題を共有し、訪問先職員の意見や考え方なども取り入れながら、こどもの支援ができるように工夫している。	訪問先の職員にセンターでの療育場面を県がして頂いたり、密に連絡を取り合うようにしている。
2	公立事業所であることから、市役所を含め保健センター、教育センターなどの公的機関のほか、民間障害児通所支援事業所などの関係機関と連携を図っている。	就学に向けて、学校や放課後等デイサービスなどの見学や相談に繋げている。	保護者に確認した上で、教育センターや支援学校の先生と連絡を取り合い、こどもの支援内容や特性などの情報を共有させていただいた。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員が1名。専門職も同行することがあるが、他の業務と兼務していることもあり、日程調整が難しい。	訪問支援員の人材育成。	専門職が同行して訪問支援が行えると、よりよい支援に繋がると思う。
2	専門職が保育所等訪問支援に携わる時間が確保しづらいこと。	個別指導の時間の他、保育所等訪問に関わる時間の確保。	専門職の勤務時間の調整し、専門職が保育所等訪問支援に行ける機会を作れるよう工夫していきたい。